

巻きや回収がストレスにならず、意図せぬ巻き速度の変化がない。電動鯛ラバの利点は非常に大きいと富所さん

其の四 九州・玄界灘の鯛ラバ

# 電動鯛ラバ イノベーション。

# 船釣りの作法

【連載】※月1掲載

釣技  
食技



▲二つに別れ、リーダーを切ることなく交換できる鯛ラバヘッドが登場

▲ドテラ流しで狙う玄界灘では、ラインが150~200メートル出ることも珍しくない

▲立て続けに3枚の大ダイが釣れた

「鯛ラバは再現性と確認の釣りだと思えます」

九州北西部の玄界灘、勝本沖の水深95メートル。富所潤さんは120グラムの鯛ラバを洗め、フォースマスタ1200DHのハンドルをていねいに巻き始める。ハンドル1回転あたり最大66センチの巻き上げ距離は、手巻きの鯛ラバ専用リールのPGとHGのほぼ中間。

まずは手巻きで、鯛ラバが適度に潮をかみ、海中をすり抜けてくるような感覚が伝わってくる速度を探る。

船が1ノット弱で流れるなか、富所さんが最適と感じた巻き速度はハンドルスピード表示「12」。

次に富所さんはタッチドライブで電動巻き上げを開始、速度12に合わせる

間速を設定する。

「これでタッチドライブを押すだけで、手巻きで最適と判断した速度12で正確に等速巻きを行ってくれます」

巻き上げにおいては、スプールの糸巻き量の変化によって1回転あたりの巻き上げ距離が変わるため同じ速度表示でもやや加速する。しかし、電動等速巻き制御を備えるフォースマスタ1200は、海底から海面まで常に一定、真正銘の等速巻きが可能だ。

そして中間速を設定して以降、富所さんはスピードクラッチのON、OFFのみで巻き上げ停止、フォール、巻き上げ再開を繰り返している。

これが「モーター&クラッチ連動機能」で、メニュー画面で設定しておけば、片手で簡単に巻き上げ停止&フォ



群青の潮の向こうから紅の魚体が現れる。海底から40メートル巻いた所でヒットしてきた

○富所潤 現役の整形外科医。実家が釣具店を営んでいた影響で、釣り具が玩具代わりの幼少期を過ごし、いつしかイカの虜に。イカをよく釣る医者と言うことで付いたニックネームが「イカ先生」



# タックルの作法

等速巻きを正確に行うだけでなく何回でも「再現」できること。



▲小さく、軽く、速いだけでなく鯛ラバに最適な機能を備える

▲モーター&クラッチ連動機能をONにすれば、電動巻き上げをしているときにクラッチをOFFにすると自動でモーターがOFFになり、クラッチをONにすると再び電動巻き上げをレスポンスよく開始する

## 【フォースマスター200DH】

◎様々な機能を備えるフォースマスター200ですが、電動鯛ラバにはとくに向いています。スプールの糸巻き量に関わらず正確な巻き速度を維持する「電動等速巻き制御」は、パッチカルはもちろん、ドテラ流して長い距離を巻くときにより効果を発揮。加えて「モーター&クラッチ連動機能」により、クラッチのON、OFFだけで素早いタッチアップ、電動巻き上げの再開ができるため、自分のイメージする速度を繰り返し再現できます。

フォースマスター200は鯛ラバ用に作ったのではないかとと思うほど、鯛ラバに適したリールです。(富所 潤)  
●SPEC ギヤ比=8.2 最大ドラッグ力=5.0kg 自重=385g  
糸巻き量PE (タナトル) =0.8号-270m、1号-220m、1.5号-150m  
最大巻上長=66cm/ハンドル1回転 ベアリング数=BB9/ローラー=1 ハンドル長=200DH=55mm、200=60mm シマノ巻上力=27kg 実用巻上持久力=3kg 最大巻上速度195m/分

## 【モーター&クラッチ連動機能】



①MENU ボタンで「モーター連動」を呼び  
②「ON」にする。これでクラッチ操作とモーターON/OFFが連動する



## NEW 海底・魚群水深表示\*

※すべての探見丸観測機搭載船で使用可能。魚群水深表示はアクティブタッチ対応の観測機搭載船のみ使用可能。

## ハンドルスピード表示

▲ハンドルスピード表示にて巻き時の巻き速度を確認、その数字を中間速設定にするとイメージどおりの速度で等速巻きができる。巻き上げ中のMENU ボタン長押しでも中間速設定は変更可能

## 電動鯛ラバタックル

道糸=タナトル8 0.8号

竿=炎月 XR FS-B66ML FS-B66M

リーダー=炎月 EX リーダー 4号3m

リール=フォースマスター 200DH

鯛ラバ=炎月 ラクチェンバクバク 100~150g

## 【炎月 ラクチェンバクバク】

◎富所さんはこの日、一度もリーダーを切ることなく、鯛ラバを素早く交換していた。その鯛ラバは、驚くべきことに2つに割れるワンタッチヘッドのラクチェンバクバク。

ワンタッチヘッドはスライドピンを引いてヘッドを開き、確実にロック。ネクタイはスルスルクリップによりワンタッチで着脱可能だ。

●ヘッドは丸型のRと、角形のSの2タイプ、カラー=全6色・サイズ=R60~120g、S100~150g。9月発売予定。

▲エンジのあるS(角形)はスクエアカリブも高く外海を向く



①スライドピンを引き出して



②ヘッドを開いて交換すれば完了。あっという間だ



▲ネクタイだけを交換するときはスルスルクリップを起こして入れ替える



チェンジ完了。写真のヘッドは内湾などに向くR(丸型=ラウンド)タイプ

# 鯛ラバの作法

再現性と確認の釣りと電動鯛ラバが目指す究極の等速巻き。



## 【炎月XR】

◎XRは各ジャンルで高い評価を得ている注目のハイスベックロッドシリーズ。その鯛ラバ専用モデル「炎月XR」はしなやかでスムーズな曲がりや突き詰めつつも、波や風でブレることなく、ヤリトリでは大ダイの引きに追随、軽やかに上げて見せた。当日はフルソリッドのFS-B66MLと、FS-B66Mを使用。Xシートエクストリームガンクリップとフォースマスター200の相性は、疲れや重さを感じさせない。

「等速巻きと同様に、鯛ラバが海底で見切られないために素早いタッチアップも重要です。一見、簡単に思われがちな作業ですが、正確に何百回と繰り返すのは実は難しい。フォースマスター200は、それをワンタッチで正確に繰り返すことができます」  
水深は約100メートル、道糸は120~150メートル出て着底、富所さんは40メートルほど巻き上げては落とす。  
1枚目のマダイは、その40メートル巻き上げたところでヒットした。このときの中間速は12だ。  
しばらくすると2枚目、これは潮がやや緩くなったと判断し速度14に変更



# 食の作法

雑味のない素朴な味わい。まるで新しい刺身のような感覚に驚く。

【真鯛のかまぼこ】



①身をたたいたら容器に入れ水を混ぜ、浮かんだ小骨などを除いたのちガーゼに包みしっかり水を切る  
②身に対し3%の塩を2回に分けて足しながら丹念にすり身にする※  
③板の上などに整形し冷蔵庫で一日寝かせ  
④これを15分ほど蒸せばできあがり  
※詳しい手順や②での砂糖、みりん、卵白を加える際の分量などは動画にてご覧ください

したとき。  
続く3枚目は速度14で反応がなく、1枚目が釣れたパターンを再現すべく速度12に戻し、答え合わせをした。  
1投ごとに正確な等速巻きとタッチアップを繰り返す「再現」と、過去の状況に戻すための「再現」。  
この2つが富所さんが大切にしている「鯛ラバの再現性」であり、「究極の等速巻き」であると言

う。  
それ以外にも、電動ならではのメリットは多い。  
「玄界灘だけでなく、大ダイは高い位置から長い距離をフォローさせると反応してくる傾向が見られます。このとき電動リールであれば、鯛ラバを重くしてフォールスピードを上げて、時間を短縮しつつ、効率よく探ることも容易です。ヘッドを重くする、色やネクタイを替える、フックの絡みを確認することもストレスになりません」

ラバが重要視するのが「確認」。色であれ、形であれ、トラブルであれ、疑問に思えば巻き上げて確認、交換、躊躇してはいけないと強調する。  
フォースマスター200は電動鯛ラバを一步先のステージへ押し上げた。それは同時に、鯛ラバの可能性の広がり、新たな作法の誕生でもある。

「船釣りの作法」動画公開中。  
SHIMANOTV または YouTubeSHIMANOTV 公式チャンネルにてご視聴いただけます。

